

自由民主党・信頼の小金井



吹春 (7)自然大災害への備えは充分なのか。市全体の更なる防災力向上のためには、以前から提案してきた抜き打ち参集訓練こそ、一番効果的であると思われる。参集訓練を実施しないか。(1)小金井市が被災地となった場合に備え、受援計画を整えないか。

市長 (7)指摘の抜き打ち参集訓練は、迅速な体制を構築する上で重要な視点であると思う。(1)受援体制は、現場で経験を積み重ねながらつなげていきたいと感じている。

清水 介護者の負担が問題となっている中、近年

は、ヤングケアラー（18歳未満の若い世代の介護者）の負担も問題となっている。市内でも、介護者家族のための条例検討会を定期的に行っているが、ケアラー、ヤングケアラーに対する支援について市長の考えは。

市長 ケアラー、とりわけヤングケアラーの方々については、市として支援に向けて取り組むべき重要な課題として認識している。

遠藤 (7)保育園受入れに関して、今後5年間で千人の定員増を図るとのことであるが、将来人口減が想定される中、その対応は。(1)9か所の学童保育所の受入れの確保は。(2)環境教育推進の方向性は。

市長 (7)保育園の総定員数等、他自治体の取組事例等も研究しながら考えていく必要がある。(1)緊

急対応が必要な所から優先的に保育環境の整備を進めることが必要。(2)子ども対象のワークショップ等の開催も含め、環境教育の推進に努めていきたい。

湯沢 (7)本市の債権管理は不十分で非効率な上、市民にも不公平が生じている。次期行財政改革プランで債権管理を進める考えはあるか。(1)不適切な事務執行が相次いでおり、コンプライアンスの推進が課題となっている。本来業務を停滞させないためにも、全庁的な体制の構築を。

市長 (7)債権の滞納整理のための指針となるべき条例等の制定、(仮称)債権管理課の設置などを検討する必要があると考えている。(1)組織的な対応力強化は必要な課題である。実態に即し、段階的に進めていきたい。

みらいのこがねい



鈴木 2期目の最初の1年に当たり、市長が描くビジョンについて問う。(7)新庁舎・(仮称)新福祉会館建設について。(1)市内の東西をつなぐ拠点づくりについて。(2)市民福祉増進のために、市長が取り組みたいテーマは何か。

市長 (7)今後の行政運営の中で福祉会館や保健センターを含む複合庁舎、防災庁舎、行政サービスの拠点となる新庁舎建設は、単に庁舎問題の解決だけでなく、公共施設マネジメント実践の出発点にしたいとの思いで進めてきた。今後も、市民の皆様、市議会議員の皆様方からのご意見を踏まえつつ、実施設計につなげ、令和2年度の取組を着実にすることが、何より求められていると思っている。(1)東小金井エリアは、今後ますます個性的な発展を遂げる可能性がある。JR中央線高架化による新たな動線を活用し、市の中心部に新庁舎・(仮称)新福祉会館を建設し、今後は武蔵小金井駅北口等の再開発を行う。東西のネットワークをつないでいくという視点を、今後のまちづくりにいかしていきたい。(2)市や医師会が実施している地域包括ケアシステム研究会に、入退院後方支援、ICT連携、多職種連携、認知症、介護予防の5部門の部会が発足した。市は体制整備の取組に対し補助金を交付し、令和3年度から各部会を市の主導で行う体制をとることとした。障がい福祉の面では、障がいのある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例の理念の具現化や、条例に掲げられた施策をしっかりと展開し、つながりを実感できるコミュニティを構築することが、福祉面でも防災面でも大切な視点であると思っている。



令和2年度 施政方針に対する 各会派の質疑 (日曜議会)

QRコードをスマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。

小金井をおもしろくする会



水谷 施政方針で示されている公民館の委託・センター化の推進という記述についてはどういうことか。現在はまだ公民館運営審議会で議論している段階である。

市長 委託やセンター化の考えは行政としての方針である。今後、関係者や公民館運営審議会で検討していただき、パブリックコメントも実施して市民の意見を聞きながら取り組んでいく課題である。

白井 市長は昨年、都市計画道路3・4・11号線について現時点では賛同できない旨の文書を東京都知事宛に送付した。東京都はオープンハウス型の説明会を開催したが、東京都の職員の説明が不統一であり、実態を考慮しない説明をしていた。市長はどう感じているか。

市長 職員ごとに説明の内容に格差があるのは望ましいものではないと感じている。

得る判断である。限られた財源をどう有効に使うかということが課題である。

板倉 2本の都市計画道路を造らせないために、市長はどのように行動するのか。新たな都市計画マスタープランの素案は、両路線とも必要なしとの結論に立った記述になると理解してよいか。

市長 考え方は、昨年10月に東京都知事宛てに提出した要望書のとおり。優先整備路線に関する3千人の市民アンケートを参考に、今後の対応を考えて

いく。

水上 男性も女性も多様な性を持つ人々も、差別なく平等に、尊厳を持ち、自らの力を存分に発揮できる社会を目指す必要がある。市長は成人式で「女性は華やかで輝き」などと述べたが、ジェンダー平等に対する見解を問う。

市長 男女共同参画の推進が求められていると考える。令和2年度はパートナーシップ制度の導入を目指す取組を進めていく。

日本共産党小金井市議団



たゆ 消費税増税や社会保障の削減が行われ、暮らしや中小企業の景気は悪くなる一方である。市民生活がどうなっているのか市長の認識を問う。新たな福祉の増進を別の市民の負担増で賄うのは福祉の増進を言えたものではない。

市長 社会保障の観点からの消費税増税は、あり

こがねい市民会議



斎藤 新庁舎と(仮称)新福祉会館に異なる耐震システムを採用している理由を明記すべきであった。耐震構造は、倒壊はしないが、心身にダメージを与える。また、1階マルチスペースと多目的室の接続部分も危険である。

市長 (仮称)新福祉会館の早期竣工を求める声にお応えする方策である。施政方針に明記すべきとの指摘は受け止める。

生活者ネットワーク



田頭 市長の本気度を問う。(7)子どもの外遊びを増やすには。(1)子どもオンズパーソンに権限を持たせる考えは。(2)子どもから若者までを見通す組織編成を。

市長 (7)自由な外遊びの場としての公園を整理し、その公園でできることをお知らせすることが重要と考える。(1)社会の仕組みを変えるための政策提言の権限も持たせる。(2)本市でも課題と考える。

情報公開こがねい



渡辺(大) なぜ部長や課長の特別調整額(管理職手当)を、市議会に一言の相談もなく、こっそりと引き上げたのか。市長の1期目の目標に掲げた人件費削減ができず、2期目となってすぐに行ったことは手当の引上げであった。コンプライアンス上も問題である。

市長 管理職手当は、組織上も人事上も重要な要素を占めると考えており、慎重に判断した。

緑・つながる小金井



坂井 (7)本気の気候変動対策とは何か。(1)積極的に受け止めると答弁した気候非常事態宣言は。

市長 (7)公共施設の建て替えや省エネ化、高効率化、自然再生エネルギーの導入、また、環境マネジメントシステムの推進や、時間外勤務の削減等も必要である。(1)改定作業中の地球温暖化対策地域推進計画の議論を進める過程で、宣言の検討も必要と考える。

原稿は議員が作成しております

次の定例会は令和2年6月1日(月)開会予定です。